

断食の律法

目的 — 教会の全会員に、約束された祝福を受けるため断食の律法に従って生活するよう勧める。

このテーマが大切な理由 — 主は聖徒たちに、「貧しい者と乏しい者の世話をし、彼らが苦しみを受けることのないように必要なものを与え〔る〕」よう命じられました（教義と聖約 38:35）。トマス・S・モンソン大管長はこう教えています。「まことの断食の原則を思い起こしてください。それは、飢えた者にわたしたちのパンを分け与え、さすらえる貧しい者をわたしたちの家に入れ、裸の者を見てこれに着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどといったことではないでしょうか（イザヤ 58:7 参照）。正直な断食献金、惜しみない断食献金とは、わたしたちがこの特別な律法を理解し、従うことを天の御父に示すことにはかなりません。」（「個人と家族の福祉に関する指導原則」『聖徒の道』1987年2月号、5）

その他のリソース

聖典

ヒラマン 3:35

歴代下 31:10

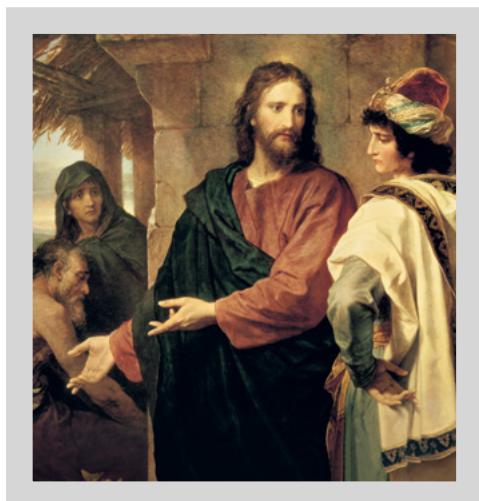
教義と聖約 38:35

教義と聖約 59:13

メッセージ

トマス・S・モンソン、「個人と家族の福祉に関する指導原則」『聖徒の道』1987年2月号、5

ヘンリー・B・アイリング、「〔これは〕わたしが選ぶところの断食……ではないか」『リアホナ』2015年5月号、22



基本原則

- ・「主は御自分の民を祝福するために、また、民が助けを必要としている人々に奉仕する方法を提供するために、断食の律法と断食献金を設けられた。」（『手引き第2部—教会の管理運営』6.1.2）
- ・「会員は断食するとき、少なくともその間に食べていたと思われる食事の費用に相当する金額を断食献金として教会に納めるように求められている。可能であれば、会員は惜しみなく、さらに多くの額をささげるべきである。」（『手引き第2部—教会の管理運営』6.1.2）
- ・「断食の律法に関する祝福には、主に近くなり、靈的な強さが増し、物質的な福祉に恵まれ、思いやりが増し、仕えたいという望みが強くなることが含まれる。」（『手引き第2部』6.1.2）
- ・断食の律法は、それぞれの財政事情にかかわりなく、すべての聖徒を益するための律法であり、信仰と改心にかかわる問題です。
- ・「断食日を正しく守るということには、24時間の中の連続した2回の食事の食べ物と飲み物を断つこと、断食証会に出席すること、また援助を必要とする人々を助けるために惜しみなく断食献金を納めることが含まれる。」（『手引き第2部』21.1.17）

ビショップの大切な務め

- ・断食献金による援助を行うに当たり、ビショップは個人の責任を強調し、生活様式ではなく生活を支え、金銭よりも生活必需品を提供し、働く機会を与える必要があります。同様に会員たちも、自立サービスの訓練に参加を促されることで恩恵にあずかることができます。
- ・「ビショップリックおよびワード評議会会員は、断食の律法に従って生活するように会員に勧める。断食の律法に従って生活することの大切さを、聖餐会、神権会、扶助協会、その他の補助組織の集会、家庭訪問、神殿推薦状の面接、また什分の一面接で教えるべきである。」（『手引き第1部—ステーク会長およびビショップ』5.2.1）



- ・アロン神権定員会に断食献金を集める割り当てを与えると、通常、会員の献金が増え、参加する若い男性に祝福がもたらされます。「アロン神権定員会を組織し、断食献金を集めるよう割り当てを与えるビショップは、この神聖な責任において益々成功するようになります。」(トーマス・S・モンソン、2014年2月28日に開かれた管理ビショッププリックとの会合にて)

断食の律法の教義を教える

- ・「そこで、主はわたしたち一人一人ができることを与えてくださいました。この戒めは子供でも理解できるほど非常に簡単です。困っている人とわたしたちにとってすばらしい約束を伴う戒めです。それは断食の律法です。」(ヘンリー・B・アイリング、「[これは] わたしが選ぶところの断食……ではないか」『リアホナ』2015年5月号、22)
- ・指導者たちは、会員が弟子としての務め、聖め、自立、誘惑に抗する力、安息日の順守といった原則と断食の律法との関係を理解できるよう助けることができます。
- ・弟子としての務めと聖め：「彼らは、しばしば断食して祈り、ますます謙遜になり、ますますキリストを信じる信仰を確固としたものにしたので、喜びと慰めで満たされ、まことに清められ、心の聖めを受けた。」(ヒラマン 3:35)
- ・自立：「民が主の宮に供え物を携えて来ることを始めてからこのかた、われわれは飽きるほど食べたが、たくさん残りました。主がその民を恵まれたからです。」(歴代下 31:10)
- ・誘惑に抗する力：「わたしたちは、イエス・キリストが荒れ野に入つて断食し祈られた理由をすべては知りません。しかし、少なくともその結果の一つは知っています。それは、救い主は……サタンの誘惑に完全に打ち勝たれたということです。」(ヘンリー・B・アイリング、「[これは] わたしが選ぶところの断食……ではないか」『リアホナ』2015年5月号、25)
- ・安息日の順守：「また、この〔主の〕日には、あなたはほかに何事もしないようにしなければならない。ただ、あなたの食物を真心を込めて準備して、あなたの断食が完全になるように、言い換えれば、あなたの喜びが満たされるようにするだけである。」(教義と聖約 59:13)